

## 今週のメニュー

## ■トピックス 1

◇PVC Design Award 2017 表彰式開催

## ■トピックス 2

◇（一社）日本住宅リフォーム産業協会（JERCO）と共催で講習会を開催  
ーゲリラ豪雨等による浸水災害への対策ー

## ■トピックス 1

## ◇PVC Design Award 2017 表彰式開催

今年で7回目となる「PVC Design Award 2017」の表彰式が11月16日に東京国際フォーラムで開催されました。準大賞（1点）、優秀賞（3点）、入賞（5点）に選ばれた受賞者に表彰状などが贈呈されました（[受賞作品一覧](#)）。

「PVC Design Award 2017」は、「未来を拓く PVCー機能と美の創造ー」をテーマとして掲げて全国から公募し、デザイン提案が175件、製品応募が75件で、応募総数は250件に上りました。デザイン提案からは、作り手側とのマッチングが成立した作品が20件で、製品応募の75件を合わせた95件が審査対象となりました。

準大賞は、室伏翼氏と(株)三洋の共同作品「Ripple」が受賞しました。この作品は軟質PVCからできたお皿の中央部に保冷ゲルを包み込んだ円型の形状をしています。受賞者のコンセプトは、フリーズしておくことでアウトドアの移動時には保冷剤として、また現地に着いたらフルーツや野菜の置き皿として使え、家庭でもデザート作りやチルド品をこの皿に置くことで保冷をキープできることです。審査員から、この作品は保冷剤と皿としての機能をミックスさせるという発想で実用性もあり、多様な使い方ができ、デザインや色合いがよく、仕上がりが美しいと評価されました。コースターなど、大きさにバリエーションを持たせれば、さらに用途が広がっていくはずとのコメントもいただきました。



準大賞作品  
「Ripple」



準大賞受賞者  
(右)室伏 翼氏  
(左)(株)三洋 鈴木伸也氏

優秀賞は、梶本博司氏と(株)ナショナルマリンプラスチックの共同作品「ワカサギマット」、(有)AIR FRAMEの作品「PLASTIC PLANE」、専門学校ヒコみづのジュエリーカレッジ濱崎飛優氏の作品「scramble」の3点です。いずれも機能と美を備えている点が評価され、完成度が高い作品として受賞しました。

このアワードを後援していただいた経済産業省の湯本素材産業課長より挨拶として、幅広い年齢層のデザイナーと加工業の作り手とが共同で本アワードを通じて塩ビ素材の更なる可能性を模索して商品化し、塩ビ製品の普及が益々進むことを期待するメッセージをいただきました。また、日本デザイン振興会の大井理事長からも、本アワードに対して、大きな励ましとなる挨拶をいただきました。



経済産業省  
湯本素材産業課長



日本デザイン振興会  
大井理事長

表彰に続いて審査員を代表して鈴木啓太氏から、選考に当たったの講評をいただきました。今年のテーマが「機能と美の創造」ということで、デザイン性やアイデア力、未来を切り拓く力・発展性を審査会の中で問われていました。鈴木氏は、デザインは日本語で意匠と書き、意は目的で匠は技で、デザインは目的と技の融合であるとの前置きをされたうえで、今年は目的が明快なものが多く、社会への提案力の強さを感じ、多種多様で楽しいものが多かったと講評されました。



PRODUCT DESIGN  
CENTER  
鈴木啓太氏

続いて、主催団体独自の賞である奨励賞が主催団体の投票により、入賞以上の受賞作品を除いたものの中から4点が選ばれ、「日本ビニール商業連合会」と「日本プラスチック製品加工組合連合会」が表彰しました。

表彰式終了後には、受賞者や来賓をお招きして受賞記念懇親会が開催されました。若いデザイナーの方々と製作の企業の方々と交流がいたるところで見られました。また、デザイナーが新しく作り手と出会う場ともなって盛況のうちに終了しました。

東京での展示会を GOOD DESIGN MARUNOUCHI で 11 月 16 日から 11 月 26 日まで開催しました。今回の受賞作品の他にマッチングが成立した作品などを展示しました。今回より製品応募の対象を軟質 PVC だけでなく硬質 PVC も加えて範囲を拡げたこともあり、来場者の方から種類が増えて新しい作風の作品もあって興味深いと感想をいただいています。今後、大阪と名古屋で展示会を開催する予定ですので是非足をお運びいただければ幸いです。

大阪と名古屋の展示会は以下の通りです。

- ・大 阪：2018 年 1 月 23～24 日、(会場) 大阪メルカート会館 4F 大ホール
- ・名古屋：2018 年 1 月 26～27 日、(会場) クリエイティブビジネススペースコード (ナディアパーク 4F)

お問合せ：[info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

PVC Design Award：[公式サイト](#)

## ■トピックス 2

### ◇（一社）日本住宅リフォーム産業協会（JERCO）と共催で講習会を開催 ーゲリラ豪雨等による浸水災害への対策ー

塩ビは多くの建材で原料に用いられていますが、VECでは、塩ビの建材市場拡大への取り組みとして、これまでシンポジウム、各種セミナーを企画、開催してまいりました。

今年はこの一環として、（一社）日本住宅リフォーム産業協会（JERCO）※と共に、リフォーム事業に関わる企業、工務店に向けたセミナーを行っています。共催として関わる関係から、セミナーの内容を塩ビ製品に限定して行うことはできませんが、今までお付き合いいただいた大学等の先生方に講師を依頼して、必ず塩ビ製建材に関する講義を行うこととしています。本セミナーは、リフォーム資材を選定する工務店に直接アピールできる場であること、またその出席率が非常に高く、真剣に聴講いただくことができることから、塩ビ製品の普及に大きく貢献できるのではないかと考えています。

※（一社）日本住宅リフォーム産業協会（JERCO）：

1983年10月、日本ではじめての、そして現在では国内最大の「リフォーム関連企業」の全国組織で、北海道から沖縄まで全国8つの支部に約470社が加盟しています。安心・安全なリフォーム事業主体の住宅事業者団体として、生活者と快適な住環境を創造します。地域に根ざし、JERCO会員が信頼のリフォームで応えています。

今回は第3回目にあたり、第1回の「暑い夏の最適リフォーム提案は遮熱対策と通風活用で決まり！」（鹿児島大学 二宮教授）、第2回の「加速する省エネ住宅へのリフォーム店の対応」（東京大学 坂本名誉教授）に続き、「熊本震災が教えてくれた、今後考えるべき2つの視点 リフォームにおける耐震設計 81-00 問題と直下率」と題して、YKK AP ショールーム新宿において行われました。



講義の様子

その中で、塩ビ製建材に関わる講義は少し題目から外れるのですが、災害対策の観点から、ゲリラ豪雨対策に用いられる止水製品について説明が行われました。ここでは、この止水製品についての講義の概要を報告いたします。

題目「ゲリラ豪雨等による浸水災害への対策」

講師：文化シャッター(株) 奥正治 部長

講演概要：最近、“線状降水帯”、“都市型洪水”と言った言葉をよく耳にしますが、実際に統計上で見た場合でも豪雨の発生件数が増加しており、豪雨対策への需要が増加しているとのことでした。

一方で、住居における豪雨対策を考える上では、ハザードマップを利用して浸水高さを確認し、その高さから住宅施設床の高さを差し引いて対策が必要な止水高を求めると共に、出入り口の幅を確認することのこと。その上で、各種取り揃えがある止水製品から、設置にかかる時間、軽さ、収納性、止水性能などを考慮して製品を選ぶとのことでした。



### 止水シートの紹介

これに対し、選択すべき止水製品には、止水シート、止水板、シート式止水板、脱着式止水板、浮力起伏式止水板、起伏式止水板、止水ドア、水密ドアなどの多様な製品を準備しているとのことでした。

この中で塩ビが使用され、特に最近話題になったものとして、簡易型止水シート“止めピタ”が紹介されていました。この製品は、比重が水より重い

塩ビの特性と水圧によりよく伸びる塩ビの特長を利用するもので、塩ビシートを開口部の外側に固定して配置することで、水圧により開口部の隙間を塞ぎ、内部への浸水を防ぐものとなっています。コンパクトに収納可能な上、設置時間も短く、好評とのことでした。この“止めピタ”は、VECが主催した [PVC Design Award 2015](#) において入賞しております。また、TBS テレビの「がちりマンデー」でも紹介されています。

今回のセミナーは、定員を超える41名もの参加者のもと、盛況に行われました。講師の皆様、そして開催にご尽力いただきました(一社)日本住宅リフォーム産業協会には、厚くお礼を申し上げます。これからも、セミナーを通して、更に多くの工務店に塩ビ製建材の良さを紹介する予定としています。

### ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <http://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)